

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年4月19日(2007.4.19)

【公表番号】特表2006-519242(P2006-519242A)

【公表日】平成18年8月24日(2006.8.24)

【年通号数】公開・登録公報2006-033

【出願番号】特願2006-504506(P2006-504506)

【国際特許分類】

C 0 7 C 327/06 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 327/06

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月2日(2007.3.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項3】

使用する前記窒素塩基が、 >7 の pK_a を有する、第1、第2および第3アルキルアミン、第1、第2および第3アリールアミン、アンモニア、グアニジン、二環式窒素複素環化合物、および塩基性窒素含有イオン交換体からなる群の中から選ばれる塩基であることを特徴とする請求項1または2に記載の方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項6】

使用する前記極性溶媒が、 C_{1-4} アルコール、水、ジメチルホルムアミドまたは任意的に置換されているピリジンであることを特徴とする請求項1～5のいずれか1項に記載の方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項8】

硫化水素とケテン、または硫化水素アルカリ金属とケテンを、 $0.5:1 \sim 2:1$ のモル比でを使用することを特徴とする請求項1～7のいずれか1項に記載の方法。

【手続補正4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項9】

ケテンと窒素塩基を、 $1 : 0.001 \sim 1 : 0.5$ のモル比で使用することを特徴とする請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の方法。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 10】

ケテンと硫化水素または硫化水素アルカリ金属との反応を、 $+60 \sim -40$ の温度で行うことを特徴とする請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の方法。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 11

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 11】

使用する前記アルカリ金属、アルカリ土類金属、アルミニウムまたはチタン塩基が、リチウム、ナトリウム、カリウム、マグネシウム、カルシウム、バリウム、アルミニウムまたはチタンの水酸化物、炭酸塩、炭酸水素塩、アルコキシド、フェノキシド、カルボン酸塩、酸化物、水素化物、スルホン酸塩、リン酸塩、硫化物、スルフィン酸塩、シュウ酸塩、ヘキサフルオロリン酸塩またはテトラフルオロホウ酸塩であることを特徴とする請求項 1 または 3 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の方法。